

科目名 (科目番号)	臨床運動学 (062711)	教員名 深谷隆史	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		火・3	A310研究室(深谷)	
授業概要	臨床運動学は人体の構造・機能と身体運動との関係、とくに病的状態における両者の関係を対象としている。本講座では障害を有する人の身体運動の観察・分析・記述方法を学習する。前半は運動学で学習した知識を復習し、動作を観察・記述する方法について整理する。後半では、歩行分析を中心として、動作の観察から問題点の整理を行なう。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	動作観察のための運動力学①	到達目標:テコの考え方を生体に応用することができる 学習内容:テコの復習と生体への応用				
	2	動作観察のための運動力学②	到達目標:重心の考え方と求め方を説明することができる 学習内容:重心の考え方と求め方				
	3	動作観察のための運動力学③	到達目標:関節モーメントの考え方を説明することができる 学習内容:関節モーメントと筋活動				
	4	動作の観察と分析	到達目標:動作を観察し、記述することができる 学習内容:動作の観察から分析までの進め方について学習する				
	5	正常歩行の観察	到達目標:正常歩行を観察・記述し、歩行周期と各相の関節運動を説明できる 学習内容:正常歩行について復習し、観察を行なう				
	6	病的歩行の観察と分析①	到達目標:歩行観察から逸脱運動とその原因を説明することができる 学習内容:立脚期における逸脱運動について学習する				
	7	病的歩行の観察と分析②	到達目標:歩行観察から逸脱運動とその原因を説明することができる 学習内容:遊脚期における逸脱運動について学習する				
	8	症例検討	到達目標:病的歩行の観察から逸脱運動とその原因を記述することができる 学習内容:病的歩行の観察を行い、記述する				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	レポート(40%)と小テスト(60%)により成績評価を行なう。						
教科書	観察による歩行分析		月島慶一 他・訳		医学書院		
参考図書							
教員からのメッセージ	授業内でのレポートはコメントを付して授業内で返却します。						